



生産技術科野菜コースが先端技術講習会を開催しました。

目的 科目「野菜」や「総合実習」でトマトの栽培について学習しており、地域の栽培農家から技術指導を受けることで栽培管理や栽培方法を学ぶ。

日時 平成30年1月18日(木) 10時00分～12時00分

講師 (株)曾我農園 代表取締役社長 曾我 新一 様

場所 新潟県立加茂農林高等学校 視聴覚教室

対象生徒 野菜コース 2年生 21名・1年生 19名

- 実施内容
1. 農業法人の経営感覚について
 2. トマトのブランド化について
 3. トマトの試食・トマトジュースの試飲



講演の様子

成果 トマト栽培において、栽培方法や管理法を変えることによって収穫物の品質や収量が大きく変わることを理解した。そのような「不思議」や「なぜ」を体験し、課題研究への意欲向上に大きな効果が出た。また、「自分が変わるか、環境を変えるか」や「農業は人生そのもの」などトマト栽培以外の話も含め、生徒は様々な言葉に感銘を受け、実り多き講演会となった。

- 生徒の感想
- トマトは、同じ品種でも栽培方法で味や形が違うものになることに驚いた。
 - 今後の自分が何をしたいのか、SWOT分析して、見つけたい。
 - トマトがとてもおいしかった。また食べたいと思いました。
 - 様々な苦労や困難の末に金筋トマトのブランド化やトマトジュース、ケチャップの開発があるのだと思った。

講師からの助言 ○これからの農業は、生産原価管理、PDCAサイクル、見える化を徹底しAIとイノベーションに対応する必要がある。

- 今後の課題
- ①課題研究に結びつけ、発展的な学習に取り組ませること。
 - ②授業の補完材料として説明に活かすこと。
 - ③地域産業と連携をどのように取り組むか。
 - ④農業関連産業への進路指導・斡旋方法の検討。

